

一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会  
2023年度 事業報告

報告対象事業期間

2023年6月1日～2024年5月31日

主な活動内容

1. 政策提言

子ども・若者の環境を改善するような提言、教育支援団体の活動を後押しするような提言を軸とした、中央省庁に対する提言を進めるべく、理事会内に分科会を設置。会員団体との提言内容検討機会の創出や、他のネットワーク団体等が進める提言に対する当会としての賛否表明（意思表示）に関する会員団体の意思確認フローを検討中。

また、11月22日には子ども家庭庁主催の意見交換会に代表理事の青砥が参加、①活動予算にかかる課題（人件費の安定的確保による活動の継続安定化の必要性）、②地方部と都市部での格差問題（地方の自治体の約4割が学習支援を実施できておらず、事業の必須化・補助率の向上などの対応が必要）、③市場化の問題（市場化に伴い地域の社会資源が失われてしまう可能性があること）についてお伝えした。

2. シンポジウムの開催（準備）

教育支援を取り巻く現状について、支援現場における具体的な話を盛り込みながら、今後の支援のあり方についての検討・議論を行う場としてのシンポジウムの開催に向けて、会員団体でもある公益財団法人ベネッセ子ども基金、北海道大学教育学研究院との共催準備を進めている。なお、開催日程・開催場所については下記の通り決定している。

<シンポジウム開催日程・開催場所>

2024年11月23日

「困難を抱えた子どもの現状と支援のあり方（仮）」@北海道大学

3. 合宿勉強会の開催

会員団体間の知見の共有やネットワーキングを目的とした合宿勉強会を開催、21団体49名が参加した。

<合宿勉強会>

1月27日～28日：「2023年度合宿勉強会」@大阪府大阪市

<プログラム>

1月26日（前日 ※任意参加）

・関西の子ども支援の現場訪問（選択制）

A : 「尼崎のこども若者政策を知る」  
あまがさき・ひと咲きプラザ（兵庫県尼崎市）

B : 「困難な状況にある子どもの居場所支援」  
b&g 園田（兵庫県尼崎市）

C : 「学習・生活支援の現場を学ぶ」  
堺市学習・生活支援事業会場（大阪府堺市）

1月27日（午前 ※任意参加）

- ・ 困窮者支援の現場訪問  
認定 NPO 法人 Homedoor（大阪府大阪市）

1月27日（午後 ※合宿勉強会）

- ・ パネルディスカッション  
[パネリスト]  
認定 NPO 法人 D×P 代表理事 / 今井 紀明 氏  
尼崎市立ユース交流センター センター長 / 片岡 一樹 氏  
認定 NPO 法人 Learning for All b&g 阪神尼崎拠点責任者 / 多田 理紗 氏  
[コーディネーター]  
尼崎こども政策監 / 能島 裕介 氏
- ・ 分科会セッション前半
  - ① 「生活困窮者自立支援法の動向」  
認定 NPO 法人さいたまユースサポートネット 代表理事 / 青砥 恭 氏
  - ② 「活動資金の調達」  
公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 代表理事 / 今井 悠介 氏
  - ③ 「子どもへのリーチ・学習支援のノウハウ」  
認定 NPO 法人 3keys 代表理事 / 森山 誉恵 氏
- ・ 分科会セッション後半
  - ④ 「こども家庭庁の動向」  
認定 NPO 法人 Learning for All 代表理事 / 李 炯植 氏
  - ⑤ 「スタッフ・ボランティアの採用・育成」  
NPO 法人いるか 代表理事 / 田口 吾郎 氏
  - ⑥ 「行政との関係構築」  
認定 NPO 法人キッズドア 理事長 / 渡辺 由美子 氏

1月28日（午前 ※合宿勉強会）

- ・ コンプライアンス研修  
弁護士 / 埴 創平 氏

1月28日（午後 ※任意参加）

- ・ 公開フォーラム「子どもの貧困と教育支援の現在」

[登壇者]

認定 NPO 法人さいたまユースサポートネット 代表理事 / 青砥 恭 氏

尼崎こども政策監 / 能島 裕介 氏

認定 NPO 法人 Learning for All 代表理事 / 李 炯植 氏

認定 NPO 法人キッズドア 理事長 / 渡辺 由美子 氏

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 代表理事 / 今井 悠介 氏

認定 NPO 法人 3keys 代表理事 / 森山 誉恵 氏

#### 4. 「教育支援団体個別支援プログラム 2023 supported by 日本生命」の実施

日本生命保険相互会社様のご支援を受け、全国各地で生活困窮家庭の子どもに対する教育支援活動を行っている非営利の団体を対象とした伴走支援プログラム「教育支援団体個別支援プログラム 2023 supported by 日本生命」を実施した。

採択団体は、NPO 法人未来経験プロジェクト（神奈川県）、NPO 法人こどもみらい食堂（新潟県）、認定 NPO 法人兵庫子ども支援団体（兵庫県）の3団体であり、7月から翌年3月までの約9カ月間にわたり伴走支援を実施し、4月20日には成果報告会も開催した。

また、同プログラムについては、日本生命保険相互会社様から2024年度も継続してご支援いただくことが決定、2024年度の採択団体は、NPO 法人 bond place（山梨県）、NPO 法人全国夜間中学ネット（兵庫県）、一般社団法人くじら寺子屋（沖縄県）の3団体に決定した。

#### 5. 企業とのマッチング事業

2023年度も多く企業のみなさまから様々なご支援をいただき、会員団体のみなさまにお繋ぎさせていただいた。

なお、株式会社壱番屋様からは「学習支援環境整備プログラム supported by 壱番屋」として、総額1,100万円規模の物品購入のためのご寄贈をいただき、2024年度も継続してご支援いただける方向で調整中である。

<ご支援企業（五十音順）>

- ・株式会社壱番屋様 / 学習支援環境整備のために団体が必要とする物品
- ・株式会社荏原製作所 / 文房具等
- ・有限会社 kotetto / クラシックコンサートチケット（東京・京都）
- ・ニッセイ商事株式会社様 / 文房具等
- ・日本航空株式会社様 / 羽田空港見学プログラムご招待 ※ご寄贈手配中
- ・日本生命保険相互会社様 / 大阪関西万博チケット ※ご寄贈手配中
- ・株式会社プレジィール / クリスマスギフト
- ・公益社団法人リース事業協会 / パソコン無償貸与 ※継続貸与中

## 6. 啓蒙活動

当会ホームページ、並びに Facebook ページにて、子どもの貧困や教育支援に関する情報発信を実施した。

## 7. その他の活動

### ➤ こども家庭庁での勉強会の実施

こども家庭庁からの依頼を受け、代表理事の青砥が7月に「居場所づくり」に関する勉強会をこども家庭庁内で実施した。

### ➤ こどもまんなか社会実現プラットフォームへの参加

副代表の李が委員として参加。こどもまんなか社会実現プラットフォームについては、子どもの声をしっかりと聞ける場、官民・民民連携の場として機能することを目指した構築が図られており、現在、具体的なアクションプラン策定に向けた検討を進めている。

### ➤ 全国労働金庫労働組合連合会（全労金）での勉強会の実施

全国労働金庫労働組合連合会（全労金）からの依頼を受け、コロナ禍の影響を受けた子どもたちを取り巻く環境、子ども支援の現場がどのように変化したか等についての勉強会を実施した（大橋理事が研修講師として対応）。

### ➤ 「MinecraftCup2023 全国大会」大会アドバイザーへの就任

代表理事の青砥が昨年度に引き続き、「MinecraftCup2023 全国大会」の大会アドバイザーに就任した。

## 会員団体、協力団体について

会員団体については、2023年5月末時点で**81団体**となった。また、協力団体としては2団体からのご賛同をいただいている。

## 理事会の開催について

2023年度、理事会を全7回開催した（①7月28日、②8月28日、③9月14日、④11月27日、⑤1月22日、⑥3月25日、⑦5月31日）。

理事会では、各理事が当会の運営方針、活動計画等について協議した。

一般社団法人 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会  
2023年度 事業報告附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項

◆特記事項なし